

レイカ大津支部会報 かけはし

76号

2022(令和4)年3月発行

題字揮毫は内田久代さん(23期文芸)

【発行】レイカディア大学同窓会大津支部

<https://lacadosokai.com>



目次

2 巻頭言：人生は楽しく
橋爪 一雄（文化部会長）

3 ・同窓会設立40周年記念事業報告
・小学校支援活動10周年記念紙
・支部・本部総会、入会式の案内

5 部会だより
健康部会・地域活動部会
文化部会・研修部会

8 小学校支援活動実績表および
まちなか支援活動実績表

9 会員投稿

11 広報部取材：縦と横のつながり
—永尾 正昭さん—

12 事務局からのお知らせ

13 大津支部新入会員のご紹介

14 「かけはし」アンケート結果

16 会員動向・編集後記



イキイキふれあい祭り
平和堂石山(1月14日～16日)

行事予定

❖第5回レイカディア大学 陶芸作品展
4月5日(火)～10日(日):滋賀県立美術館

❖第38回大津支部定期総会・新入会員入会式
4月15日(金):レイカディア大学

❖同窓会本部定期総会
5月11日(水):レイカディア大学

人生は楽しく

文化部会長 橋爪 一雄(35期 陶芸・瀬田南)

かけはし巻頭言の依頼を受けましたので、日頃あまり話出来ていない私の活動について述べたいと思います。

私は福岡県生まれですが、九州では求職数が少なく京都の製造会社に就職しました。しかし配属は滋賀工場でしたのでそのまま滋賀に住みついてしまいました。定年までは会社人間で会社関係者以外の人との付き合いはありませんでしたし、趣味らしいことは何一つありませんでしたので、今までと違った事をしようと考え定年を機に新たに4つの事を実施することにしました。

一つ目はこのままでは音楽の楽しみを知ることなく人生を終えることになると考え、音符も読めないど素人ながらサクソスを購入して練習することにしました。途中、病氣療養で中断しましたが、約10年間余ほぼ毎週レッスンに通っています。下手くそですが、少しでも進歩上達が感じられると嬉しいものです。



二つ目は日本一周を狙ってヤマハドラッグスター400クラシックというアメリカンスタイルのバイクを購入しました。しかし、夏は暑いし冬は寒すぎて見た目ほど快適ではなく、乗れる期間が短いことにより日本一周どころか九州や紀伊半島一周が精一杯で体力にも自信がなくなり2年ほど前にバイクは売却しました。しかしバイクの醍醐味を少しは知ることは出来たと思います。

三つ目は会社人間からの脱却です。定年後の先輩の行動を参考に、レイカディア大学は多彩で豊富な人材がいると知っていたのでもう入学するしかない決めました。期待通り会社以外の方と知り合いが増え、フォト・ウォーククラブから始まり卒業後のサポート隊役員、同窓会役員、えにしの会役員と仲間が一気に増え広がりました。かけがえのない人間関係が出来、レイカディア大学には感謝してもしきれません。

四つ目はやってきた仕事の知識が活かせるのでは思い、陶芸学科を選んで陶芸を始めたことです。ミクロンオーダーの寸法精度や要求品質を求めるのとは異なり、寸法はアバウト、異物は景色となる様な別世界ですが、自分の手で形を作り素焼きし、模様を描き施釉して本焼きする一連の工程を全て自分一人で行って出来上がる時の楽しみは今までにない喜びです。色や形も思った通りには出来ないの、如何に満足の行くものを作るかは様々な工夫次第です。知識も技術も大変奥深いものがありますので少しでも進歩出来ればそれも大きな楽しみの一つです。



今後共知り合った仲間と共に楽しい時間を過ごしながら少しでも人のためになる様、持って生まれた魂を少しでも浄化していけるよう努力して行きたいと考えています。

同窓会 40 周年記念事業について（結果報告）

同窓会 40 周年記念式典が 12 月 17 日（金）に滋賀県立男女共同
参画センター（近江八幡市）にて開催されました。

【第 1 部】

・来賓紹介と祝辞

滋賀県知事 三日月大造様、近江八幡市長 小西 理様、
レイ大学長 渡邊光春様

・同窓会 40 年の歴史と DVD 放映

・グラウンド・ゴルフ大会（12 月 1 日長浜ドームで実施）
の成績発表と表彰

団体戦結果：大津支部は 9 支部中 6 位で**敢闘賞**

個人戦結果：4 位入賞 遠藤修一（石山地域）、飛び賞 住若富子（中央地域）

ホールインワン賞（指定ホール）松岡克実・遠藤（石山地域）、住若（中央地域）

【第 2 部】 記念講演 満田良順氏（近江日野商人館長）

「新しく分かった近江商人の世界」

【第 3 部】 野洲市在住のフォークバンドグループ「ピーフォー&オー」

「懐かしの我青春ソング」



三日月大造知事のご祝辞

大津支部小学校支援（応援）活動 10 周年記念紙発行について（ご案内）

小学校支援活動は 10 周年を迎えました。支援活動内容は多岐に渡り校庭美化・校庭花作り・
図書整理・パソコン教室支援・縫製授業支援等々を行ってきました。

3 周年は社会福祉協議会のご協力を仰いで記念大会を開催し、6 周年は瀬田地域を中心に記
念行事を開催しました。10 周年では 3 周年、6 周年と同様な行事も考えましたが、コロナ禍の
中、開催が危ぶまれましたので **10 周年記念紙** を発行することに決定しました。教育委員会、支
援小学校・幼稚園・児童クラブに配布し、今後のご支援・ご理解を頂けるように考えています。
会員の皆様にもお届けしますので、今後の小学校支援活動にご協力宜しくお願い致します。

以下、**記念紙**より抜粋

2021 年秋、レイカ大津小学校支援活動は 10 周年の節目の年を迎えました。

2011 年神戸市のシルバーカレッジを訪問した時、学生や 0B の方々が小学校支援ボランティア活動を行っ
ていることに刺激を受け、当会でも活動を展開していきたいと、同年 9 月から大津市教育委員会、市内小学校
などを訪問し、ご意向やご要望をお聞きしながら活動を始めました。

3 年後には、小学校支援活動の一層の充実を図り、理解度を高めるため、3 周年記念大会を行いました。今で
は市内の 29 小学校、6 幼稚園、1 児童クラブに活動を広げております。

活動内容は多岐にわたりますが、剪定を中心とした校庭美化、花壇や花鉢の校庭花づくり、パソコン教室
支援、図書整理、縫製授業支援等です。昨今はコロナ禍の中、一部の活動の支援を中断しておりますが、徐々
に活動の範囲を戻して行っております。

この間、2018 年に小学校支援活動など地域に密着した社会貢献諸活動の取り組みで、「第 6 回おうみ社会
貢献賞」を公益財団法人滋賀県市町村振興協会から、また翌年には教育行政の振興と発展に寄与したこと
により、「大津市教育功労賞」をそれぞれ受賞しました。このよ
うに、これらの諸活動を高く評価していただき、各方面から
助成金を賜り、剪定道具の充足や活動の知名度向上の策を
図ってきました。

今後とも関係各位の一層のご支援、ご理解を賜りますよう
お願いいたします。



支部・本部総会 & 入会式のご案内

第 38 回大津支部定期総会

◆日時：2022年4月15日(金) 13時～14時45分（受付開始：12時30分～）

◆会場：滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室
（レイカディア大学草津校1階）

- ◎議案：1. 2021年度事業報告
2. 2021年度収支決算及び監査報告
3. 会則の一部改訂（案）
4. 役員の改選（案）
5. 2022年度事業計画(案)
6. 2022年度収支予算(案)



昨年度の支部総会

★同窓会年会費（2,000円）は、領収書と引換えに地域の役員にお支払い下さい。

同窓会大津支部新入会員入会式

◆日時：2022年4月15日（金）15時～（受付開始14時30分～）

◆会場：滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室(レイカディア大学草津校1階)

*実施につきましては支部総会承認後の新役員体制で行います。

2022年度本部定期総会

◆日時：2022年5月11日(水) 13時～14時30分（受付開始：12時～）

◆会場：滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室(レイカディア大学草津校1階)

議事

1. 2021年度事業報告・決算報告
2. 2022年度事業計画・予算計画（案）
3. その他

★お願い：支部定期総会及び本部定期総会への出欠について、配布文書にご記入の上、至急、地区の担当役員へお渡し願います。

部会だより

「健康部会」

～たのしく なかよく 元気よく！～



2021年度の健康部会活動も昨年度同様、新型コロナウイルスに邪魔されてしまった。5月の第4波、8月の5波、そして年明けの6波と、それに合わせてまん延防止等特別措置法および緊急事態宣言の発出が続き、活動期間は9～12月の3カ月余りだけ。期初の計画は次々と中止に追い込まれた。

1. 今年度の総括

期初にはグラウンドゴルフ大会3回、室内スポーツ大会2回、研修部会との共催事業1回と意欲的な計画を立てたが、実施できたのはグラウンドゴルフと共催事業の各1回のみ。達成率は3割3分3厘。野球の打率なら優秀だが、我々にとっては完敗だ。実に口惜しい。



1回しかできなかつたグラウンドゴルフ大会
(2021年11月19日、矢橋帰帆島)

2. 2022年度の計画

次期部会長候補の方と相談し、コロナが収束するとの前提で、昨年度同様のリベンジ計画を立てている。即ちグラウンドゴルフ大会3回、室内スポーツ大会2回、研修部会との共催事業1回である。共催事業は若い会員が希望されているウォーキングに研修を合わせた事業である。当部会にとって年間6回の事業開催はキツイ仕事であるが、頑張っってやり遂げたいと考えている。どうぞご期待下さい。

「地域活動部会」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～



南郷幼稚園での「正月楽しみ企画」を無事に終えることができました。コロナの関係でできるか心配していましたが、昨年から数度の打ち合わせを重ね、どうにか3回目を開催することができました。

今回は特にサークルへの協力依頼と打ち合わせ確認を行い、また幼稚園での遊び道具も増えていましたので、第1部は紙芝居・マジック、第2部は昔遊びと教室を変えながら楽しい2時間を過ごすことができました。これからも毎年開催を続けていけるように取り組んでいきます。

第1回＝2019年1月11日

昔遊び

第2回＝2020年1月10日

マジック・昔遊び

(2021年は中止)

第3回＝2022年1月11日

マジック・紙芝居・昔遊び





平和堂石山「イキイキふれあい祭り」の報告

展示期間：2022年1月14日～17日

展示場所：平和堂石山 3階スペース

出品数：書道同好会他 12作品、ほのぼの絵手紙サークル 16作品

竹灯籠 16作品、陶磁器他 32作品 **合計76作品**

来場者数：**453名**

感想

- ① 昨年7月23日～26日に行われた「イキイキふれあい祭り」に引き続き2回目の展示となったことにより、展示要領も分かって比較的スムーズに準備できた。特に文化部会で延25名、知名度向上プロジェクトチームで延20名、および絵手紙、竹灯籠、書道同好会メンバーに設営、撤収、監視当番等として協力、貢献して頂いた。
- ② 来場者は前回の308名に比べ今回は453名と大きく増えた。作品内容が豊富で見応えがあったことが寄与していると感じた。
- ③ 作品の展示を通じてレイ大に興味を持っていただいた方も多く、レイ大のアピールは充分出来たと感じている。



アル・プラザ堅田での「イキイキふれあい祭り」が2月4日～7日に予定され、準備完了していたが、新型コロナ感染激増で中止となったのは残念であった。

- 来期予定**
- 5月13日：市民陶芸体験講座（大津市生涯学習センター）
 - 6月10日～13日：イキイキふれあい祭り支援（平和堂石山）
 - 7月1日～4日：イキイキふれあい祭り支援（アル・プラザ堅田）
 - 10月：大津市同窓会作品展

「研修部会」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～



令和3年度 琵琶湖博物館見学会（12月16日、参加者32名）

リニューアルオープンした琵琶湖博物館で見学会を行った。まず、博物館セミナー室で次の2件の講義を拝聴した。

- ① **一伊達 哲氏**（県・琵琶湖保全再生課主幹）：SDGs 琵琶湖版 MLGs（マザー・レイク・ゴールズ）がなぜ必要なのか？ 最近水質は良くなったが漁獲量は減っている。人の暮らしと自然のバランスを考えMLGs実現を！
- ② **中井 克樹氏**（琵琶湖博物館・専門学芸員）：なぜ琵琶湖の外来種問題に取り組むのか？ ブラックバス、ブルーギル、オオバナミズキンバイ、動物種々の問題化（社会的被害）を解決し、貴重な琵琶湖の60種以上の固有種の存在と価値・琵琶湖の水の保全再生の大切さを訴えた。

その後、A～Cの展示室、屋外、その他の展示の見学も行い、琵琶湖再発見ができて、皆さん大いに楽しんで頂きました。



琵琶湖博物館・水族館



セミナー室で集合写真

令和4年度研修部会 企画候補地

◎彦根地方気象台

◎近江上布伝統産業会館

◎豊郷小学校旧校舎群

その他沢山の候補地をご用意して、楽しい企画へのご参加をお待ちしています。



彦根地方気象台



近江上布伝統産業会館



豊郷小学校旧校舎

2021(令和3)年度 小学校支援活動実績表(2021年4月1日～2022年2月28日)

地域	支援項目	学校名	回数	参加者数	内在校生	内協力者
比 叡	校庭美化	木戸小、仰木の里小、仰木の里東小、仰木小、真野北小、真野小、坂本小、志賀小、堅田小、小松小、小野小、雄琴小、伊香立小、日吉台小、和邇小、唐崎小、真野北児童クラブ	37	278	8	15
	図書整理	仰木の里小	1	5	0	0
	校庭花づくり	小松小、木戸小、真野北小、真野小、堅田小、和邇小、小野小、伊香立小、仰木小、仰木の里小、仰木の里東小、雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、唐崎小、志賀小、堅田幼稚園、真野北児童クラブ	47	64	0	14
	小学校除菌	真野北小	75	75	0	0
	比叡地域合計		160	422	8	29
中 央	校庭美化	長等小、逢坂小	4	47	0	0
	図書整理	平野小	7	45	3	0
	校庭花づくり	平野小、長等小、逢坂小、中央小	13	21	0	0
	中央地域合計		24	113	3	0
石 山	校庭美化	南郷小、石山小、青山小、晴嵐小、南郷幼稚園、田上幼稚園、大石幼稚園	15	126	0	0
	昔遊び授業	南郷幼稚園	1	15	0	0
	石山地域合計		16	141	0	0
瀬 田	校庭美化	瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、瀬田北小、瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園	18	126	7	7
	校庭花づくり	瀬田東小	11	60	4	21
	図書整理	瀬田南小、瀬田北小	35	138	4	9
	瀬田地域合計		64	324	15	37
大津支部 小学校支援活動 総合計			264	1,000	26	66

2021(令和3)年度 まちなか支援活動実績(2021年4月1日～2022年2月28日)

支援項目	回数	参加者数	内在校生	内協力者	
境内美化(建部大社)ボランティア	2	12	0	1	
唐崎やよい作業所ボランティア	2	8	1	0	
スポーツゲームボランティア(聖火リレー)	1	29	6	3	
平和堂作品展&学生募集支援活動	12	185	10	5	
シルバー作品展監視員ボランティア	3	12	0	0	
大津支部 まちなか支援活動 総合計		20	246	17	9

感動したオリンピック

堀口 唯子 (26 期 生活・日吉)

新型コロナウイルス感染症のために、1 年の延期となりましたが、TOKYO 2020 のオリンピックとパラリンピックが開催されました。東京での開催は昭和 39 年以来 57 年ぶりとなり、コロナ渦でなければ世界中から多くの観客が来日し、競技会場だけでなく日本中が熱い熱気に包まれたことでしょう。ご承知の通り来日客はなく、都内の競技場では高い倍率を乗り越えて手にしたチケットも、使われることはありませんでした。世界中がテレビを通して観戦することになったのですが、選手皆さんは静まり返った会場でも、練習の成果を十二分に発揮して、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。私も毎日、テレビと新聞を見て応援をしていました。スクラップした新聞の中から抜粋してみました。



☆大橋 悠依選手：彦根市出身 (個人 400m・200m メドレー水泳 金メダル)

(1 つ目の金メダル獲得後) 足が結構重くて疲れは感じているけど、動き自体は良く普通に泳ごうと思っていました。すごくいいレースが出来ました。厳しいレースが続くなか、自信を深めています、とのこと。滋賀県出身者初の個人金メダル獲得、本当におめでとうございます。ひこにゃんからもプレゼントがありましたね。

☆上野 由岐子選手：福岡市出身 (ソフトボール 金メダル)

ソフトボールで活躍されていることを以前から知っていました。テレビでアップになった時、思わず声を出して「上野さん」と言ってしまいました。背番号 17 番も覚えています。明るく朗らかな性格と笑顔が私は大好きです。金メダルを手にした笑顔が輝いています。けがを乗り越え、皆でつかんだ優勝は見事でした。

☆木村 敬一選手：栗東市出身 (100m バタフライ パラリンピック競泳 金メダル)

栗東出身のパラ競泳選手ということで地元新聞にも度々取り上げられ、応援してきました。2018 年にはアメリカに渡ってハードな練習をされていたそうです。金メダルを獲得した直後の心境は「今後も人間として成長していきたい」とのことでした。

☆桐生 祥秀選手：彦根市出身 (陸上 100m×4 リレー)

(高校時代の友人へのインタビュー) 今も Line で連絡を取り合う仲です。いつも通り走れば結果は必ず出る、ケガだけはしないでほしいと思っています。家族のような心境でいつも見守っています。高校時代にメンバーとして桐生にバトンをつなぎましたが、桐生にバトンを渡すと何とかしてくれるという安心感がありました。

日本選手団はオリンピック 58 個、パラリンピック 51 個のメダルを獲得するという大活躍でした。メダルに届かなかった選手も、精一杯の努力をされたことはその清々しい顔、あるいは悔しさに涙ぐむ姿を通して、私たちに十分伝わりました。コロナ渦での開催については、日本国内でもいろいろな意見がありましたが、私にとっては勇気と感動をくれた、素晴らしい大会でした。今回出場された選手、次のオリパラを目指している選手、パリでも勇姿を見せてくださいね。

ウィズコロナの時代

大平 恭文 (41期 地文・晴嵐)

I、今年2月に1日あたりの感染者が1000人を越えた滋賀県は、コロナ対策重点措置を実施、レベル2でまん延防止等重点措置の要請はしない。学校や高齢者施設・事業所で感染対策を今一度お願いするとしている。昨年9月末には、まん防が全国一斉解除され、飲食業、旅行、観光、スポーツ、イベントやGo To事業も再開した。忘年会・新年会・成人式と行事が続き、マスク会食でも欧米より遅く第6波がやって来た。予防接種時に、医者からアルコール消毒するが問題はなかと聞かれ、つい「長年飲んでいるので、アルコールには強いです」と答え失笑された。コロナ禍の昨年の新語・流行語と共に、余計なことを色々思い出した。

II、当初政府は、昨年4月に高齢者から予防接種を始め、7月末完了と宣言していた。自衛隊動員、職域や県の集団接種と新対策を打ち出した。しかし地方の対応の遅れ、打ち手不足、PCR検査の遅れ、輸入ワクチン不足、入院病床不足、COCOAの不具合が、接種時の不祥事や協力金の不正受給、3密防止で路上飲みなどが次々発生した。また国産ワクチンの開発の遅れは、開発費や副作用問題訴訟で企業の開発意欲の後退がある。やっと政府は昨年6月ワクチン開発・生産体制の強化などを閣議決定した。明るい話題として、今年2月25日国産の飲み薬治療薬を承認申請、ワクチンも申請準備の報道があった。



III、日本は何事にも危機管理が甘い。一昨年3月東京五輪が1年間の延期が決まった。これ以降徹底した入国制限や外出抑制を実施し、大半が予防接種を終え新規感染者が零に近づいていたなら、人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証しの五輪として、世界から賞賛されたに違いない。しかし、営業自粛や時短営業など強制力のない要請ばかりで、人流を制限できず最悪を想定して最善を尽すべきであった。この理論を見失ったため、国や地方の対応が全て後手になった。新型コロナを過小評価していたのではないか、さすが(菅)日本とは程遠かった。



無観客の東京五輪に対して、観客として渡航した'04年アテネ五輪のモニュメント (大平撮影)

IV、地方医療の役割は保健所にあるが、これが逼迫している。保健所を半減させた小泉改革を今頃知ることになった。軽症・中等症、自宅療養・ホテル療養、入院などに混乱が生じ、ぶっ潰されたのは国民の命と健康ではないか。ワクチンパスポートの提示を求められる中、変異株のオミクロンや副反応が気になるが、政府は3回目の予防接種や、5歳から11歳までの予防接種を始めた。これから景気が回復すると期待したが、ロシアが戦争を始めた。ガソリンや食料品が高騰するわ、年金が下がるわ、ウィズコロナの時代、政府の舵取りは大丈夫か。などと心配していると命が縮まる。ニュースを見ながらブツブツ言うと黙食だ！と言われ、うっせいわ!とまた酒量が増える。ポーっと生きてチョコちゃんに叱られている方が長生きするかも…。('22.3初記)



縦と横のつながり —永尾 正昭さん—

今回は、石山地域の永尾 正昭さん（34期 地文・南郷）を取材させていただきました。

永尾さんは大阪でお生まれになり、地元大学の理工系学部の受験は失敗でしたが、大阪学芸大（現大阪教育大）には見事合格。歴史がお好きだったこともあり、大学では3回生から日本史を専攻され、教員養成系カリキュラムの履修により各種の教員免許を取得されました。以後、中高一貫の高槻中学・高校（私立）で永きにわたり社会科・日本史の教鞭をおとりになり、名物教師として生徒たちから慕われました。20年ほど前に津江市に転居され、退職後の70才でレイ大の34期地域文化学科に入学されました。

レイ大入学前から津江市の観光ボランティアとして活躍され、現在も石山寺案内ボランティアを務めておられます。

永尾さんのご活躍として特筆すべきは、「城郭探訪会」と「えにしの手会」の立ち上げでしょう。レイ大では、同期の同学科に所属するメンバーとは交流が盛んですが、学年や学科を越えての交流・親睦に乏しいですね。この断絶を改善するためには、同じ目的をもつ多くの人材が所属できるチームが必要で、永尾さんは先に挙げた二つのグループの創設に携われ、初代会長としてリーダーシップを発揮されました。「縦と横のつながり」を飛躍的に広げた立役者といっても過言ではありません。

同窓会では、副支部長（石山地域）や研修部会長などを歴任され、それぞれのグループでの活動を強化されるとともに、歴史ハイキングなどの企画・実行を主導され、みずから名所旧跡のガイドも務められています。

日本史の魅力についてお伺いしたところ、私達日本民族が経験してきた言動を遡って知ることにより、人々の暮らしや思いを身近なものとして捉えることができるからだそうです。特に興味をお持ちなのは江戸時代後期の庶民の新しい動き（立ち上がり）で、武士階級に対する農民の抵抗、町人の発想の転換などが実に面白いとおっしゃっていました。

このようにご活躍されている永尾さんですが、ここ2年ほどはコロナ禍の影響で諸活動が制限され、自宅で過ごす日々が増えたと嘆いておられました。好々爺と呼ぶにふさわしい謙虚で柔和な御ふるまいの中で、時々お見せになる鋭い眼光が印象的でした。

（広報部会：遠藤修一、住若富子）



坂本歴史ウォーキングのガイドをされる永尾さん（右から二人目）



インタビューを終えて

事務局からのお知らせ

❖知名度向上プロジェクトについて

知名度向上プロジェクトは発足して2年が経過しました。各種活動を行っていますが、大津支部にとって永遠のテーマであることから、今回新たに名称を知名度向上委員会としてスタートします。従来のメンバーに加えて5部会活動、各地域活動からもメンバーを組み入れ支部内の活動展開がスムーズになるように展開していきます。会員の皆様のご協力・ご支援のもと、幅広く活動展開を行いますので更なるご協力宜しくお願い致します。また外部団体との協働でこれまで実施していました龍谷大学の学生さんとのICTツールの習得支援については本年も継続していきますのでご協力宜しくお願い致します。

❖Walatte(エ-ル-ポ-レ-ション機関誌)2月号にレイカディア大学淡海詩吟クラブの上部組織として「江州吟詩会」が紹介されました。

卒業生も多く現在16名(大津支部2名)で活動しているそうです。月に3回稽古をし、近江神宮や多賀大社等々へ出吟され仲間作りや健康づくりそしてストレス発散をしながら、メンバー募集も行っています。何といても大きな声を出すと、心も体も爽快になり、気分が落ち込んだ時でも大声で詠うことで気持ちが明るくなるとのことで、「もう一生やめられないです」という声も聞かれます。入会したい要望があればまずは、レイカディア大学の詩吟クラブへのことです。



2013年にレイカディア大学に詩吟を楽しみながら健康と仲間作りを目的とした『淡海詩吟クラブ』を発足。2016年には卒業後も仲間と一緒に詩吟をより深めたいとの想いで、『吟道関心流滋賀県本部江州吟詩会(以下「江州吟詩会」)』を発足されました。守山市守山公民館・会館にて月3回の稽古の他、一吟会(発表会)や吟行会、近江神宮や多賀大社での奉納吟、競吟大会への出吟などをされています。会員数は16名。



みやした やすこ 副会長 宮下 康子 さん
まつもと いのすけ 会長 松本 偉之助 さん

❖同窓会大津支部 新入会員 50 名(42 期 49 名、40 期1名)
 <<42 期生のうち大津市在住の方 49 名全員が入会します!>>

氏名	ふりがな	地域	地区	学科
赤枝 進	あかえだ すすむ	比叡	志賀	園芸
浅井 雅代	あさい まさよ	比叡	志賀	園芸
石川 鈴江	いしかわ すずえ	比叡	志賀	陶芸
石川 弘雄	いしかわ ひろお	比叡	志賀	び環
井上 聡	いのうえ さとし	比叡	志賀	健づ
小野 猛彦	おの たけひこ	比叡	志賀	陶芸
中村 幸弘	なかむら ゆきひろ	比叡	志賀	園芸
船水 幸子	ふなみず さちこ	比叡	志賀	地文
渡辺 秀雄	わたなべ ひでお	比叡	志賀	陶芸
川端 恭子	かわばた きょうこ	比叡	堅田	陶芸
澤 道夫	さわ みちお	比叡	堅田	園芸
辻井 信夫	つじい のぶお	比叡	堅田	陶芸
村田 省三	むらた しょうぞう	比叡	堅田	園芸
橋辺 昌子	はしべ まさこ	比叡	唐崎	健づ
村林 秀隆	むらばやし ひでたか	比叡	日吉	陶芸
荒川 篤	あらかわ あつし	中央	皇子山	園芸
川嶋 良典	かわしま よしのり	中央	皇子山	陶芸
小林 正幸	こばやし まさゆき	中央	打出	陶芸
岩崎 恵子	いわさき けいこ	中央	平野	園芸
田中 悦子	たなか えつこ	中央	平野	陶芸
蓮尾 秀俊	はすお ひでとし	中央	平野	園芸
大西 雄治	おおにし ゆうじ	中央	膳所	陶芸
原 多恵子	はら たえこ	中央	膳所	園芸
山里 純利	やまぎと すみとし	中央	膳所	園芸
池田 雅子	いけだ まさこ	石山	晴嵐	健づ
今橋 久之	いまはし ひさゆき	石山	晴嵐	園芸

氏名	ふりがな	地域	地区	学科
熊谷 隆	くまがい たかし	石山	晴嵐	び環
泉 喜代子	いずみ きよこ	石山	南郷	陶芸
市川 和夫	いちかわ かずお	石山	南郷	び環
大橋 力子	おおはし りきこ	石山	南郷	健づ
岸 紀雄	きし のりお	石山	南郷	陶芸
中山 敦生	なかやま あつお	石山	南郷	健づ
原田 益栄	はらだ ますえ	石山	南郷	健づ
村上 智	むらかみ さとる	石山	南郷	陶芸
井上 徳善	いのうえ のりよし	石山	田上	び環
本多 千恵子	ほんだ ちえこ	石山	田上	健づ
近澤 淑子	ちかざわ よしこ	石山	青山	園芸
山内 孝子	やまうち たかこ	石山	青山	健づ
横田 三樹夫	よこた みきお	石山	青山	園芸
上田 留市	うえだ とめいち	瀬田	瀬田	園芸
野呂 勝美	のろ かつみ	瀬田	瀬田	地文
玉山 国雄	たまやま くにお	瀬田	瀬田	陶芸
山中 邦枝	やまなか くにえ	瀬田	瀬田	陶芸
高木 清人	たかき きよと	瀬田	瀬田北	び環
高木 貞子	たかき さだこ	瀬田	瀬田北	び環
瀧上 絹子	たきがみ きぬこ	瀬田	瀬田北	地文
塚本 光代	つかもと みつよ	瀬田	瀬田北	陶芸
喜多 孝	きた たかし	瀬田	月輪	園芸
堀 保夫	ほり やすお	瀬田	一里山	園芸
小野 義郎*	おの よしお	瀬田	瀬田	陶芸

※地文:地域文化、 健づ:健康づくり
 び環:びわこ環境 *40期卒

❖執行役員会と役員会の日程

- 5月 6日 (金) 執行役員会 9時30分～ 大津市生涯学習センター
- 5月24日 (火) 役員会 9時30分～ レイ大大教室
- 6月 3日 (金) 執行役員会 9時30分～ 大津市生涯学習センター
- 6月27日 (月) 役員会 9時30分～ レイ大大教室

*4月は執行役員会、役員会ともありません。

❖今後の行事予定

- 4月15日 (金) 支部定期総会 13時～14時45分 レイ大大教室
- 4月15日 (金) 新入会員入会式 15時～16時45分 レイ大大教室
- 5月11日 (水) 本部定期総会 13時～14時30分 レイ大大教室

「かけはし」カラー化に伴うアンケート調査結果(ダイジェスト版)

(詳細はホームページに掲載してあります)

広報部会

2021年度から試行としてカラー版を発行しましたが、今後カラー化の継続性と紙面内容の向上を目的に会員の「かけはし」に対するご意見(思い)をアンケートで調査しました。

1. 実施概要

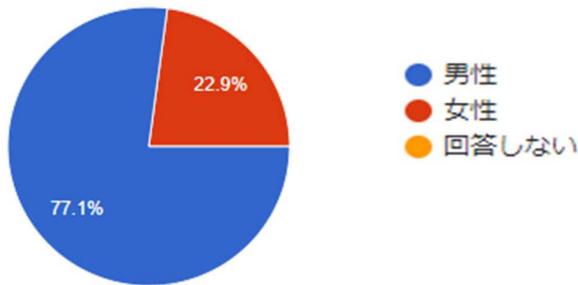
アンケート期間：2021年12月22日～1月15日

調査対象者数：220名

アンケート回答数：83名(回収率37.9%)

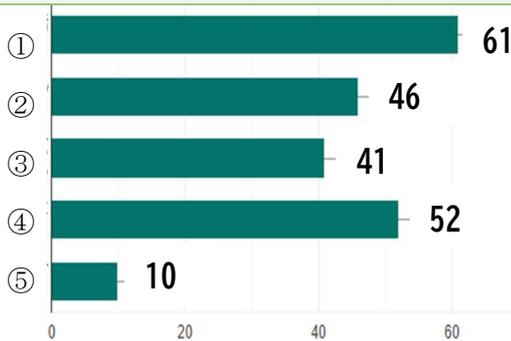
2. 回答結果

● 設問1 「性別」

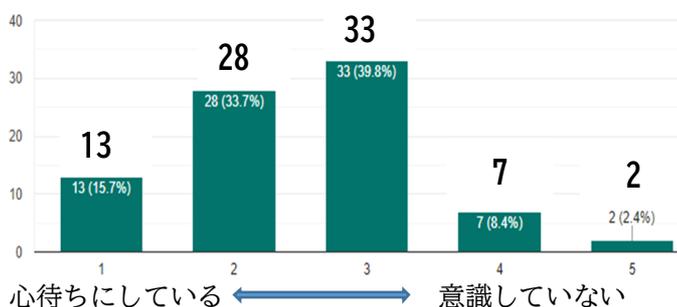


● 設問2、「かけはし」に対する役割として、あるべき姿(下記から3つ選択)

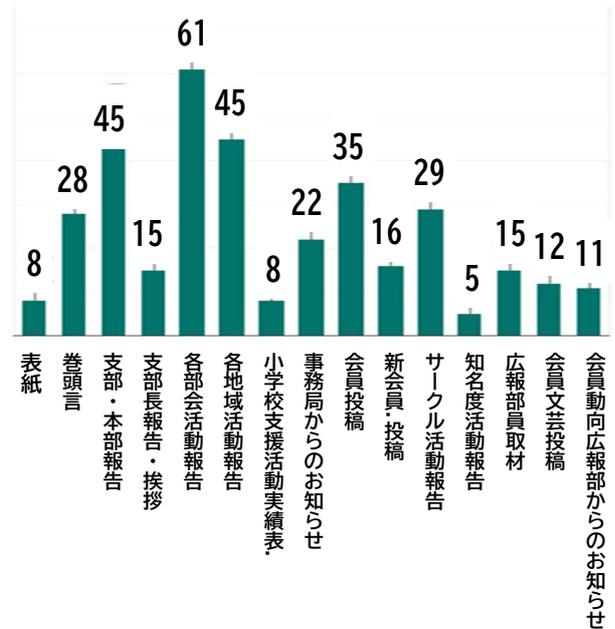
- ① 支部のビジョン、活動方針、報告、計画を伝える会報誌である
- ② 支部と会員双方の情報を伝達する会報誌である
- ③ 関係団体への支部活動を広く知ってもらう広報誌である
- ④ 会員相互の絆を深め支部活動に参画意欲を向上させる会報誌である
- ⑤ 会員に支部の活動報告、計画を単に知らせる支部活動報告誌である



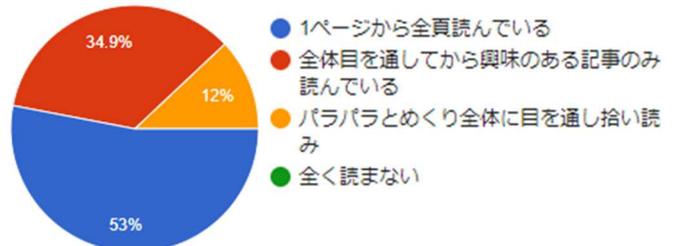
● 設問3「かけはし」の発行の意識度を5段階評価



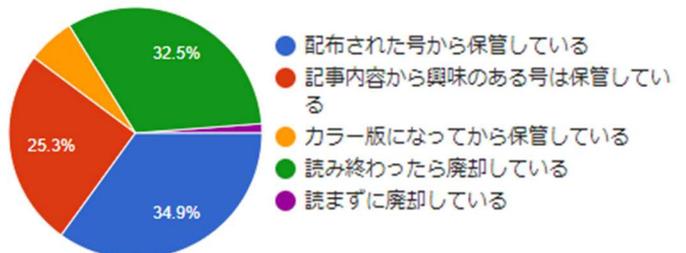
● 設問4「かけはし」の記事に対する興味度(5つ選択)



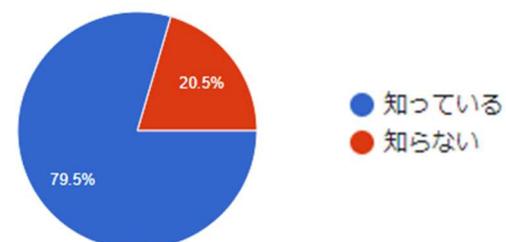
● 設問5「かけはし」をどの程度読んでいるか



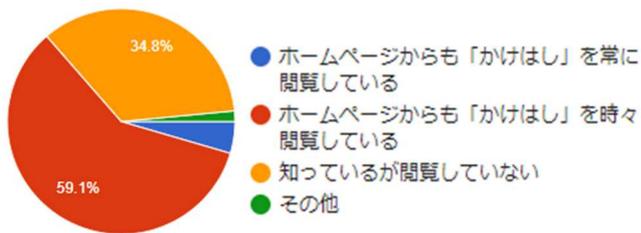
● 設問6「かけはし」を保管



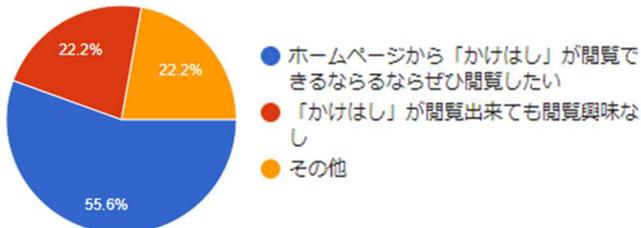
● 設問7 HPからも「かけはし」が閲覧できる事



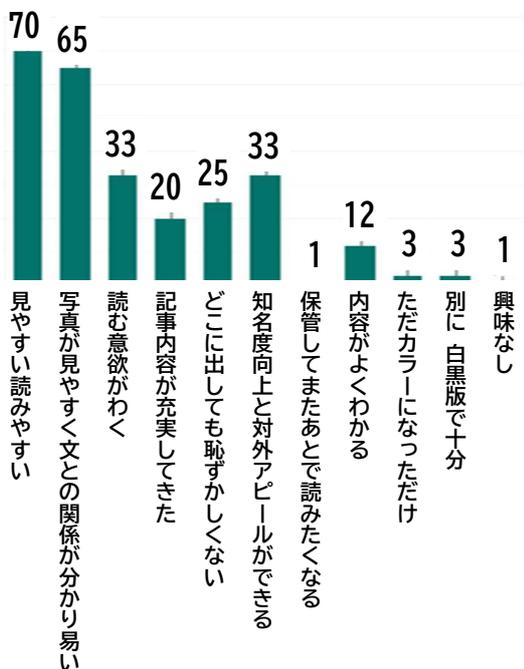
● 設問 8 閲覧知っている会員の HP 利用度



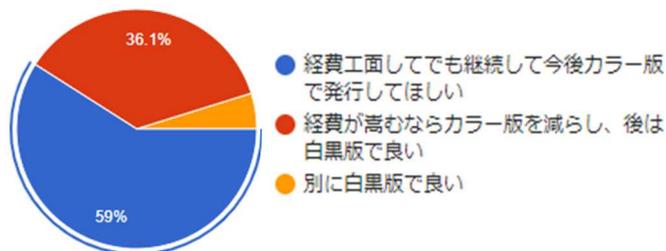
● 設問 9 閲覧できる事知らなかった会員は



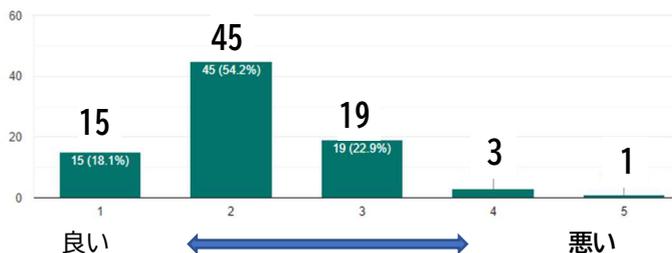
● 設問 10 カラー版に対する評価（5つ選択）



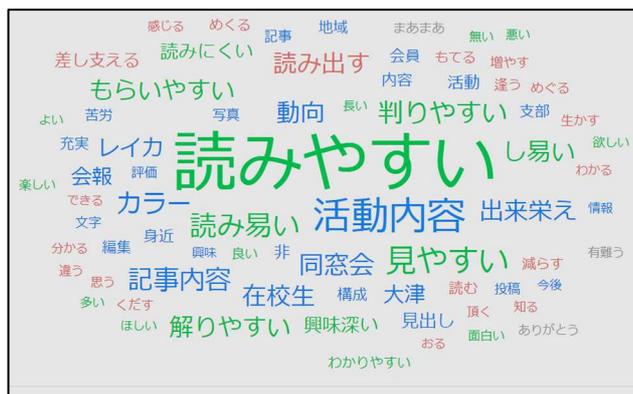
● 設問 11 今後カラー版の継続について



● 設問 12 「かけはし」の総合評価（5段階評価）



● 設問 13 総合評価の回答理由の記述回答



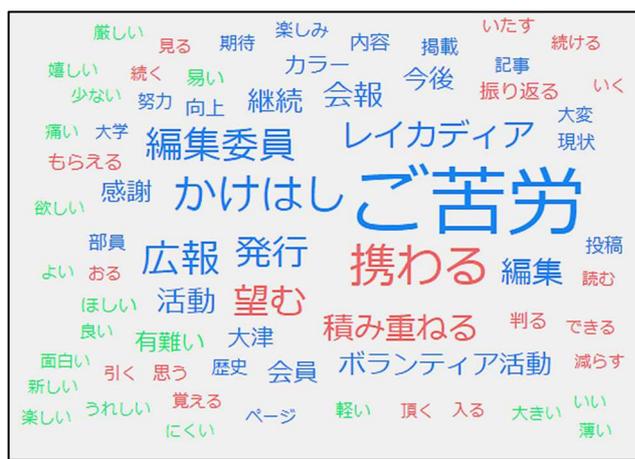
要約：内容が充実してきて、カラー化で読み易い
活動内容がわかりやすく興味が持てる

● 設問 14 掲載してほしい記事、投稿したい記事について記述回答



要約：支部内活動に限らず、活動を掘起こした記事
大津支部会員の所属されているボランティア
組織の活動紹介を掲載してほしい。
シニアの生活相談的記事の要望。

● 設問 15 「かけはし」に対する意見記述回答



要約：担当者の皆様のご苦労が推察されます

総括：「かけはし」のカラー化推進に対し前向きなご意見を頂きました。経費の問題を支部と共に解決しながら推進いたします。ご協力有難うございました。

紙面の関係で大きく内容を省略しております。詳細アンケート結果とコメントはホームページをご参照下さい。

会員動向

大津支部会員数 **257名** (3月10日現在)

〈4月1日には42期卒業生など50名の入会を予定しています。p13参照〉

『かけはし』への投稿について

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、次号(77号)の発行は6月下旬です。

投稿の要領は下記の通りです。

- ・内容は支部全体の活動、各部会の活動報告、各地域の活動、および一般投稿などです。
- ・テーマは自由で、ボランティア活動、随想、紀行文、趣味のサークル活動などのほか、短歌、俳句、川柳などの投稿をお願いします。
- ・なお、誌面構成の関係上、自主的に投稿される方は事前に広報部会長にその旨をメールでお知らせ願います (住若富子 tomityann_1205@yahoo.co.jp)。
- ・原稿の文字数は 1,200 字以内(図表を含む)を厳守して下さい。
- ・原稿締め切りは5月25日(厳守)です。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ印刷原稿は郵送で

住若 富子宛 〒520-0043 大津市中央4丁目1-11

メール添付は 佐瀬 章男宛 sase@opal.plala.or.jp

中村健一郎宛 knakamura4097@gmail.com

「かけはし」への投稿の詳細については、中村健一郎編集委員までお問い合わせください。

編集後記

ロシアのウクライナ侵攻は深刻な問題ですね。北京オリンピック・パラリンピックもいろいろと後味の悪さが残りました。そして新型コロナの第6波と暗い話題ばかりですが、お元気でお過ごしでしょうか。

年明けとともにオミクロン株の感染が急拡大し、同窓会行事も多くが中止や延期に追い込まれました。もうウンザリといった感もありますが、しばらくは我慢をして感染拡大防止に注意を払いたいものです。

「かけはし」アンケートの結果からは、カラー化が好評のようです。これからもコロナに負けずに、ますます充実した紙面づくりに励んでいきたいと思えます。なお、今号から表題は内田久代さん(23期文芸)による書を使用させていただいています。

【訂正とお詫び】「かけはし 75号」のP11表題で鵜飼さんを誤って「猪飼」と表記してしまいました。ここに訂正しお詫びいたします。

編集委員

岩田和彦・藤田順一(志賀) 福井かおる(唐崎) 和田紀久子(日吉) 清水初美(皇子山)
大塚庸行・住若富子(打出) 松岡克実(晴嵐) 脇田 進・遠藤修一・河野安明(南郷)
中村 登(瀬田) 佐瀬章男(瀬田北) 河村良一・中村健一郎(瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報「かけはし」76号

発行責任者 大津支部長 藤田 順一

編集責任者 広報部会長 住若 富子

2022(令和4)年3月30日発行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。

